

321化学設備を起因物とする死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2020	5	19～20	事業所のクリーンルーム内で、4人で重量物（ロール）を運搬していた際、無理な体勢で運んだうえ、2人が抜けて残り2人で持ったため重量がかかり、急性腰痛症を負った。	47	19	10805	1000～9999
2	2020	10	15～16	工場プレート室で、バルブメンテナンス作業中、バルブを取り外すためナットを緩めた際、ゴーグルをしておらず、配管内に残留していたオキシニアアクティブの原液が噴き出し、両目に入り、左目角膜の薬傷を負った。	45	4	10106	50～99
3	2020	10	13～14	ゲル剤調整室で、1.0%ゲルの調整し、タンクへ取り出し作業中、釜内部に付着しているゲル材をヘラで掻き落とし、中腰姿勢から上体を起こした際、椎間関節症を負った。	33	19	10803	300～499
4	2020	11	11～12	工場内で、タンク（樹脂塔・活性炭塔）の上にあるマンホールを開放し、樹脂と活性炭を採取した。その後、マンホールを閉めてボルト締めを終え、中腰の姿勢で再度点検をしていたとき、タンク上部が錆びていたので滑って通路に落下した。その際、左脛骨と腓骨を折り、左下腿部にコンパートメント症候群を発症した。被災時、安全帯を着けていたが、フックを掛ける設備がなかったので使用していなかった。	30	1	150109	1～9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。